

第1回施設管理研修会

- 日時 令和4年7月26日(火) 13:30～15:40
- 出席者 23病院26名・委員10名
- 開催方法 Web開催

講演 病院に求められるセキュリティ ～様々な事例から効果的なセキュリティ対策～

講師 株式会社セキュリティハウス 天達 光郎 統括部長



病院のセキュリティ対策として、ハード面・ソフト面それぞれの備えについて説明された。

ハード面では、患者など来訪者があることで業務を行う「オープン&クローズド」の建物特性と、何を守るのか＝病院の薬品やカルテ情報などの資産、リスクを想定する＝不審者、情報漏えい、無断離院などを前提に、対策として管理区画の明確化、夜間休日出入口の限定化を計画的に実施すべきである。また、AIや映像解析の技術による防犯カメラと入退管理を併せ持ったシステムの活用例について紹介があった。(非常用バッテ

リーなど防災対策グッズ、病床用予測型見守りセンサーの紹介も)

ソフト面では、安全管理対策マニュアルの整備と職員教育の実施を進めるため、施設方針の明確化と整備に係る経費の検討、防犯システムを設置していること等対応策の掲示等の内容を盛り込む。また「声かけ」を日常的に行うことで職員の防犯意識を高める効果がある。防犯カメラを設置するうえで、運用規程の作成により使用目的の明確化や個人情報への配慮を行う必要がある。

質疑応答 (一部のみ)

問防犯カメラ設置に関し、職員から映り込みへの拒否申出があったら？

答実際の対応は難しい。防犯目的であること、映像管理の徹底を納得してもらう必要がある。

問防犯カメラで「目的物の画像検索がAIで可能」とは？

答例えば「赤い服を着た人」「〇〇の方向に向かっている人」などの条件検索ができる。逐一チェックするよりもかなりの効率化になる。またAIの学習機能でより詳細な条件検索もできるようになる。

(施設管理委員 三宅伸幸)